



Cat[®] 349F/ 349F L

油圧ショベル

2017

349F Lは、生産性の向上と、所有コストやオペレーティングコストの削減を目指して製造されました。さらに、出力、燃料効率、信頼性など、成功に必要な要素をすべて備えています。

作業性能

- C13 ACERT™エンジンは、オフロード法2014年 (Tier 4 Final) 排出ガス基準に適合しています。
- オートマチックエンジンスピードコントロールが負荷に応じて回転数を下げ、燃料消費量を低減します。
- 複数のパワーモードで、燃料消費量を積極的に管理します。

Cat[®] Connect (Catコネク) テクノロジー

- Cat Connectテクノロジーソリューションは、LINK、GRADEおよびDETECTテクノロジーを提供することにより、生産性を向上し、オペレーティングコストを最低限に抑え、投資利益を最適化します。
- VisionLink[®]では、車両の位置、稼働時間、非稼働時間、燃料消費量、生産性、診断コードなどの車両運転データに無線でアクセスできるため、車両性能を最適化します。
- Catグレードコントロールから切崩し/埋戻し情報をリアルタイムで提供するため、勾配や傾斜を従来よりもすばやく正確に造成できます。

メンテナンス

- 給脂箇所やフルードタップなどの日常メンテナンス箇所には、地上から楽に手が届きます。
- 並列クーリングシステム装備で清掃が容易です。
- 複数のS-O-SSMポートと圧力診断タップを備え、メンテナンス時の休車時間を短縮します。

快適性

- フルサイズの転倒時運転者保護構造 (ROPS、Roll-Over Protective Structure) 認定キャブは、静かで快適です。
- ジョイスティックコンソールとアームレストは調整可能。シートは調整式で、エアサスペンションと冷暖オプションをご用意。
- LCDモニターは操作が簡単で、44言語でプログラミング可能。

汎用性

- Catシャーやマルチプロセッサにより、解体作業をすばやく簡単に完了。
- 専用のCatバケットとハンマーで採石作業にも難なく対応。
- カプラを装備しているため、キャブを降りなくても、アタッチメントをわずかな時間で交換可能。

耐久性

- ブームとスティックは耐用年数の延長を目指して製造されています。
- 高い負荷のかかる部分には、多板構造、鋳造品、鍛造品を使った箱型断面構造を採用。トラックシュー、リンク、ローラ、アイドル、ファイナルドライブは、引張り強度の高い鋼製です。
- グリース潤滑式のトラックリンクをピンとブッシュの間に配備し、足回りの寿命を延長するとともに騒音を低減。

安全性

- スマート給油により高速充填燃料ポンプを停止すべき時を感知し、過剰な給油を防ぎます。
- リアビューカメラにより良好な視界を確保し、より効果的、効率的に作業を遂行。
- 延長されたハンドレールとガードレールがデッキ昇降時の安全性を確保し、滑り止めプレートがあらゆる天候で滑る危険を低減。



オフロード法2014年
基準適合

Cat® 349F/349F L油圧ショベル

エンジン

エンジン名称	Cat C13 ACERT
定格出力 (グロス) - SAE J1995	322 kW (432 hp)
定格出力 (ネット) - SAE J1349	311 kW (417 hp)
内径	130 mm
行程	157 mm
総行程容積	12.5 L

機械質量

最小運転質量*	47,500 kg
最大運転質量**	49,300 kg
*標準足回り、650 mm DG、リーチブーム、R3.35 mスティック装着時	
**固定式ロング足回り、750 mm TG、リーチブーム、R3.35 mスティック装着時	

油圧システム

メインシステム - 最大流量 (合計)	770 L/min
スイングシステム - 最大流量	385 L/min
最大圧力 - 作業機	35,000 kPa
最大圧力 - 走行時	35,000 kPa
最大圧力 - 旋回時	27,500 kPa
パイロットシステム - 最大流量	27 L/min
パイロットシステム - 最大圧力	4,120 kPa

走行

最高走行速度	4.7 km/h
最大けん引力	335 kN

交換時の容量

燃料タンク容量	720 L
冷却水	50 L
エンジンオイル (フィルタ付き)	38 L
旋回ドライブ (片側)	10 L
ファイナルドライブ (片側)	15 L
作動油 (タンクを含む)	570 L
作動油タンク	407 L
尿素水タンク	41 L

旋回

旋回速度	8.7 rpm
旋回モーメントトルク	148.5 kN-m

寸法

ブーム	リーチブーム6.9 m	
スティック	R3.35TB	
バケット	1.9 m ³	
足回りのタイプ	標準	固定式ロング
全高 (輸送時)	3,730 mm	3,730 mm
全長 (輸送時)	11,900 mm	11,900 mm
後端旋回半径	3,730 mm	3,730 mm
ローラの中心間距離	4,030 mm	4,360 mm
トラック全長	5,040 mm	5,370 mm
最低地上高*	510 mm	510 mm
クローラ中心距離	2,740 mm	2,740 mm
輸送時の幅 - 750 mmシュー	3,490 mm	3,490 mm
キャブ高さ	3,230 mm	3,230 mm
キャブ高さ (トップガード装着時)	3,430 mm	3,430 mm
カウンタウエイト下端高さ*	1,280 mm	1,280 mm
*シューラグの高さを含まない。		

作業範囲

ブーム	リーチブーム6.9 m
スティック	R3.35TB
バケット	1.9 m ³
足回りのタイプ	標準/固定式ロング
最大掘削深さ	7,660 mm
最大床面掘削半径	11,730 mm
最大切削高さ	10,820 mm
最大ダンプ高さ	7,430 mm
最小ダンプ高さ	2,750 mm
最大垂直壁掘削深さ	5,830 mm

Cat製品、ディーラーのサービス、業種別ソリューションの詳細については、www.cat.comをご覧ください。

© 2017 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の車両には、オプション装備品が装着されていることがあります。装備可能なオプションについては、Catディーラーにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM, それらの各ロゴ, "Caterpillar Yellow" および "Power Edge" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1931-01
置き換えAJXQ1931
(Japan)

